



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年8月1日

上場会社名 旭硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 島村 琢哉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部広報・IR室長 (氏名) 小林 純一 (TEL) 03-3218-5603
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月3日 配当支払開始予定日 平成28年9月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 四半期利益		四半期 純利益		親会社の所有者に 帰属する四半期純利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	624,949	△5.1	39,884	16.5	36,782	△33.5	29,128	△17.7	27,030	△20.5	△118,496	-
27年12月期第2四半期	658,583	△0.1	34,226	32.1	55,330	207.0	35,412	478.6	33,981	821.0	73,836	-

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	23.38	23.29
27年12月期第2四半期	29.40	29.28

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	1,814,468	1,034,090	970,042	53.5
27年12月期	1,991,262	1,163,767	1,094,172	54.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	-	9.00	-	9.00	18.00
28年12月期	-	9.00	-	-	-
28年12月期(予想)	-	-	-	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に帰 属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,280,000	△3.5	84,000	18.0	54,000	△36.1	36,000	△22.2	30,000	△30.1	25.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	1,186,705,905株	27年12月期	1,186,705,905株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	30,383,546株	27年12月期	30,665,148株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	1,156,184,553株	27年12月期2Q	1,155,882,391株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(要約四半期連結純損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(要約四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12
(その他収益及びその他費用)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①2016年12月期第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2016年1月1日から2016年6月30日まで）における当社及び関係会社（以下、当社グループという）を取り巻く世界経済は、全体としては引き続き緩やかな景気回復が続いたものの、一部の地域で弱さが見られました。日本においては、政府の経済政策等により、景気は緩やかな回復基調が継続しましたが、先行きに不透明感が見られます。欧州の景気は引き続き緩やかに回復し、米国でも個人消費が増加するなど、景気回復が続いています。中国をはじめとする新興国においては、成長鈍化が見られました。

このような環境の下、当社グループでは円高やディスプレイ事業の売上高減少等の影響を受け、当第2四半期連結累計期間の売上高は前第2四半期連結累計期間比336億円（5.1%）減の6,249億円となりました。営業利益は、原燃材料価格下落等のコストダウンや、建築用ガラスの販売価格上昇及び自動車用ガラスの出荷数量増加等により、同57億円（16.5%）増の399億円となりました。一方、前第2四半期連結累計期間に計上した退職後給付制度改定益が当第2四半期連結累計期間は発生しなかったことから、税引前四半期利益は同185億円（33.5%）減の368億円、親会社の所有者に帰属する四半期純利益は同70億円（20.5%）減の270億円となりました。

②2016年12月期第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

○ガラス

建築用ガラスの出荷は、欧州や北米で堅調に推移し、日本・アジアでは前年同期並みとなりました。販売価格は多くの地域で前年同期に比べ上昇したものの、円高の影響もあり、建築用ガラスは前年同期に比べ減収となりました。

自動車用ガラスは、欧州や北米で自動車生産台数が増加したことから、当社グループの出荷も増加し、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間のガラスの売上高は前第2四半期連結累計期間比13億円（0.4%）増の3,431億円となりました。営業利益については、建築用ガラスの販売価格上昇や自動車用ガラスの堅調な出荷、原燃材料価格下落等により同105億円（199.3%）増の158億円となりました。

○電子

液晶用ガラス基板の出荷は、顧客における生産調整の影響を受け、前年同期に比べ減少しました。また、販売価格も前年同期に比べ下落しました。ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は、電子機器用途では前年同期に比べ減少しましたが、車載用途では拡大しました。ソーラー用ガラスの出荷は、前年同期に比べ減少しました。電子部材については、スマートフォン市場減速の影響を受け、オプトエレクトロニクス用部材の出荷が前年同期に比べ減少しました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の電子の売上高は前第2四半期連結累計期間比251億円（17.1%）減の1,216億円、営業利益は同80億円（45.3%）減の96億円となりました。

○化学品

クオールアルカリ・ウレタンは、東南アジアにおいて出荷が増加したものの、販売価格の下落や円高の影響を受け、前年同期に比べ減収となりました。フッ素・スペシャリティは、一部製品の出荷が減少し、また円高となったことから、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の化学品の売上高は前第2四半期連結累計期間比102億円（6.5%）減の1,472億円となりました。一方、営業利益は原燃材料価格下落等の影響により、同25億円（19.4%）増の152億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等）、自動車用ガラス等
電子	液晶用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、医薬薬中間体・原体、ヨウ素製品等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

(2) 財政状態に関する説明

○資産

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比1,768億円減の18,145億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことにより為替換算後の有形固定資産が減少したことに加え、上場株式の株価下落に伴い、その他の金融資産が減少したことによるものであります。

○負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比471億円減の7,804億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことによる影響も含め有利子負債が減少したことによるものであります。

○資本

当第2四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末比1,297億円減の10,341億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことに加え、上場株式の評価が下落したことに伴い、その他の資本の構成要素が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期純利益	親会社の所有者に 帰属する 当期純利益
当期 (2016年12月期)	12,800	840	540	360	300
前期 (2015年12月期)	13,263	712	845	463	429
増減率 (%)	△3.5	18.0	△36.1	△22.2	△30.1

2016年の世界経済は、全体としては緩やかな景気回復が続くものの、先行きの不透明感が高まっています。

このような環境の下、建築用ガラスの出荷は、欧州、北米、日本などで増加する見込みです。自動車用ガラスの出荷は、一部新興国で自動車需要に減速感が見られるものの、全体としては堅調に推移する見込みです。

液晶用ガラス基板の出荷は、前期に比べ増加する見通しです。販売価格の下落幅については、縮小していく見込みです。ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は、電子機器用途ではスマートフォン市場の動向に不透明感はあるものの、前期並みとなる見込みです。また、車載用途での出荷は拡大する見通しです。電子部材のうちオプトエレクトロニクス用部材の出荷が期前半に減少したものの、期後半からは回復する見通しです。半導体関連製品については、堅調に推移する見通しです。

化学品関連製品の出荷については、インドネシアの新規設備が生産を開始したことから、クロール・アルカリ製品が大幅に増加し、またフッ素関連製品も堅調に推移する見込みです。

以上を踏まえて、当社グループの2016年通期の売上高は前期比463億円 (3.5%) 減の12,800億円、営業利益は前期比128億円 (18.0%) 増の840億円を予想しています。しかしながら、2015年通期に計上した退職後給付制度改定益は2016年通期では発生しないことなどから、税引前利益は前期比305億円 (36.1%) 減の540億円、親会社の所有者に帰属する当期純利益は前期比129億円 (30.1%) 減の300億円を予想しています。なお、2016年7月14日に通期の連結業績予想を修正しています。併せて、2016年通期の期中平均為替レートも、対米ドル108円、対ユーロ120円に見直しました。

《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しにのみ全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

要約四半期連結純損益計算書における「営業利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標であります。「その他収益」及び「その他費用」の主な内訳には、為替差損益、固定資産売却益、固定資産除却損、減損損失、事業構造改善費用などがあります。「事業利益」には、金融収益・費用及び法人所得税費用を除いたすべての収益・費用が含まれております。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2016年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	104,831	125,770
営業債権	241,294	215,758
棚卸資産	235,374	220,785
その他の債権	36,733	29,376
未収法人所得税	6,448	5,137
その他の流動資産	12,863	14,685
流動資産合計	637,546	611,514
非流動資産		
有形固定資産	982,296	893,105
のれん	34,231	31,781
無形資産	27,456	24,257
持分法で会計処理されている投資	38,850	36,901
その他の金融資産	232,877	180,008
繰延税金資産	30,108	28,891
その他の非流動資産	7,896	8,007
非流動資産合計	1,353,716	1,202,954
資産合計	1,991,262	1,814,468
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	126,956	114,187
短期有利子負債	34,989	35,964
1年内返済予定の長期有利子負債	61,709	57,293
その他の債務	98,678	112,354
未払法人所得税	4,737	5,852
引当金	1,887	1,802
その他の流動負債	17,198	16,068
流動負債合計	346,157	343,522
非流動負債		
長期有利子負債	372,034	340,835
繰延税金負債	32,666	5,647
退職給付に係る負債	58,057	74,429
引当金	12,821	11,099
その他の非流動負債	5,758	4,841
非流動負債合計	481,338	436,854
負債合計	827,495	780,377
資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	100,802	100,705
利益剰余金	663,874	680,607
自己株式	△29,576	△29,300
その他の資本の構成要素	268,198	127,157
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,094,172	970,042
非支配持分	69,594	64,048
資本合計	1,163,767	1,034,090
負債及び資本合計	1,991,262	1,814,468

(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結純損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
売上高	658,583	624,949
売上原価	△493,395	△461,363
売上総利益	165,188	163,585
販売費及び一般管理費	△132,410	△124,223
持分法による投資利益	1,447	522
営業利益	34,226	39,884
その他収益	37,144	2,183
その他費用	△16,035	△4,548
事業利益	55,335	37,519
金融収益	3,315	3,097
金融費用	△3,321	△3,834
金融収益・費用合計	△5	△737
税引前四半期利益	55,330	36,782
法人所得税費用	△19,918	△7,653
四半期純利益	35,412	29,128
親会社の所有者に帰属する四半期純利益	33,981	27,030
非支配持分に帰属する四半期純利益	1,430	2,098
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益(円)	29.40	23.38
希薄化後1株当たり四半期純利益(円)	29.28	23.29

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
四半期純利益	35,412	29,128
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付負債(資産)の純額の再測定	9,855	△12,905
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	21,374	△33,268
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	20	32
純損益に振り替えられることのない項目合計	31,250	△46,141
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	381	1,439
在外営業活動体の換算差額	6,767	△102,944
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	24	20
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	7,173	△101,483
その他の包括利益(税引後)合計	38,424	△147,625
四半期包括利益合計	73,836	△118,496
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	72,773	△113,782
非支配持分に帰属する四半期包括利益	1,062	△4,713

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	100,670	641,866	△29,784	△40,859	86,402
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	33,981	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	9,676	21,358
四半期包括利益合計	—	—	33,981	—	9,676	21,358
所有者との取引額等						
配当	—	—	△10,402	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△28	—	—
自己株式の処分	—	△0	△65	180	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	1	—	—	△1
株式報酬取引	—	△96	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△97	△10,466	151	—	△1
期末残高	90,873	100,573	665,381	△29,633	△31,183	107,759

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
期首残高	△734	264,693	309,501	1,113,126	67,364	1,180,490		
当期変動額								
四半期包括利益								
四半期純利益	—	—	—	33,981	1,430	35,412		
その他の包括利益	405	7,351	38,792	38,792	△367	38,424		
四半期包括利益合計	405	7,351	38,792	72,773	1,062	73,836		
所有者との取引額等								
配当	—	—	—	△10,402	△652	△11,055		
自己株式の取得	—	—	—	△28	—	△28		
自己株式の処分	—	—	—	114	—	114		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△1	—	—	—		
株式報酬取引	—	—	—	△96	—	△96		
その他企業結合等	—	—	—	—	1,184	1,184		
所有者との取引額等合計	—	—	△1	△10,413	532	△9,881		
期末残高	△328	272,044	348,292	1,175,486	68,959	1,244,445		

当第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	100,802	663,874	△29,576	△35,003	91,408
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	27,030	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△12,935	△33,251
四半期包括利益合計	—	—	27,030	—	△12,935	△33,251
所有者との取引額等						
配当	—	—	△10,404	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	—
自己株式の処分	—	—	△120	282	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	16	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	226	—	—	△226
株式報酬取引	—	△113	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△96	△10,298	275	—	△226
期末残高	90,873	100,705	680,607	△29,300	△47,938	57,929

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△2,563	214,357	268,198	1,094,172	69,594	1,163,767
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	27,030	2,098	29,128
その他の包括利益	1,460	△96,087	△140,813	△140,813	△6,811	△147,625
四半期包括利益合計	1,460	△96,087	△140,813	△113,782	△4,713	△118,496
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△10,404	△412	△10,816
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	△6
自己株式の処分	—	—	—	161	—	161
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	16	△419	△402
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△226	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△113	—	△113
その他企業結合等	—	—	—	—	△1	△1
所有者との取引額等合計	—	—	△226	△10,346	△832	△11,179
期末残高	△1,103	118,269	127,157	970,042	64,048	1,034,090

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	55,330	36,782
減価償却費及び償却費	69,227	61,837
受取利息及び受取配当金	△3,187	△3,065
支払利息	3,279	3,068
持分法による投資損益	△1,447	△522
固定資産除売却損益	1,311	236
営業債権の増減額	21,458	7,394
棚卸資産の増減額	△13,412	△4,072
営業債務の増減額	△5,074	△214
その他	△25,618	9,670
小計	101,866	111,114
利息及び配当金の受取額	3,494	2,948
利息の支払額	△2,961	△3,862
法人所得税の支払額	△10,736	△10,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,662	99,728
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△57,510	△56,612
有形固定資産の売却による収入	5,397	2,707
その他の金融資産の取得による支出	△793	△2,851
その他の金融資産の売却及び償還による収入	883	3,209
その他	△345	△168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,368	△53,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の増減	△20,006	7,566
長期有利子負債の借入及び発行による収入	17,093	10,370
長期有利子負債の返済及び償還による支出	△2,465	△27,233
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	—	△402
自己株式の取得による支出	△28	△6
配当金の支払額	△10,402	△10,404
その他	△5	△867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,815	△20,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,243	△4,097
現金及び現金同等物の増減額	24,722	20,938
現金及び現金同等物の期首残高	69,655	104,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	94,377	125,770

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に「ガラス」、「電子」及び「化学品」の3カンパニーを置き、各カンパニーは、取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、グローバルに事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、「ガラス」、「電子」及び「化学品」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は、以下のとおりです。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等）、自動車用ガラス等
電子	液晶用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、医薬薬中間体・原体、ヨウ素製品等

I 前第2四半期連結累計期間（自 2015年1月1日 至 2015年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			セラミック ス・その他	合計	調整額	要約四半期 連結純損益 計算書計上 額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	341,282	146,170	155,886	15,243	658,583	—	658,583
セグメント間の売上高	477	564	1,515	17,235	19,792	△19,792	—
計	341,760	146,734	157,401	32,479	678,376	△19,792	658,583
セグメント利益又は損失 (営業利益)	5,283	17,615	12,735	△1,437	34,196	29	34,226
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	35,412

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2016年1月1日 至 2016年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			セラミック ス・その他	合計	調整額	要約四半期 連結純損益 計算書計上 額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	342,597	121,004	146,738	14,608	624,949	—	624,949
セグメント間の売上高	474	604	470	20,305	21,855	△21,855	—
計	343,072	121,608	147,209	34,914	646,804	△21,855	624,949
セグメント利益又は損失 (営業利益)	15,811	9,644	15,210	△651	40,015	△131	39,884
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	29,128

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

(その他収益及びその他費用)

その他収益

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
為替差益	—	523
固定資産売却益	128	798
退職後給付制度改定益	36,071	—
その他	945	861
その他収益合計	37,144	2,183

当社は、2015年4月21日付で確定給付企業年金制度を改定したことに伴い、前第2四半期連結会計期間に退職後給付制度改定益を計上しております。

その他費用

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
為替差損	△3,159	—
固定資産除却損	△1,440	△1,035
事業構造改善費用	△10,065	△472
その他	△1,370	△3,040
その他費用合計	△16,035	△4,548

(重要な後発事象)

該当事項はありません。